

一粒で秋を味わう。 兵庫県丹波篠山産の幻の黒枝豆「丹波黒枝豆」 11月1日（土）数量限定で販売開始

ケンミン食品株式会社(兵庫県神戸市・代表取締役社長:高村祐輝)は、兵庫県丹波篠山市でとれる幻の黒枝豆「丹波黒枝豆」を当社通販サイトとケンミン冷凍ビーフン自販機で11月1日（土）から販売を開始します。

今年の黒枝豆は、好天の影響で例年と比較して莢(さや)付きがよく、また豆が大ぶりに育っており豊作の年となりました。当社では冷凍加工により、旬の味を一年中楽しめる商品に仕上げました。また、枝豆は海外で『EDAMAME』として人気を博していることを受け、当社が「大阪・関西万博」に出店した「GF RAMEN LAB大阪・関西万博店」でもメニューとして提供し、好評を博しました。



「丹波黒枝豆」中身イメージ

1 商品概要

ケンミン食品 丹波篠山産 「丹波黒枝豆」(冷凍)

丹波黒枝豆は、大粒で、強い甘み・独特のコク・深い旨みが特長です。

- 発売日 2025年11月1日（土）
- 販売場所 当社通販、ケンミン冷凍ビーフン自販機
- 販売数 数量限定
- 内容量 200g(1袋)
- 価格（税込）自社通販…3袋入り3,300円、
ケンミン冷凍ビーフン自販機…1袋1,000円

当社通販サイト：<https://www.kenmin.com/>



「丹波黒枝豆」パッケージ

2 幻の黒枝豆 丹波黒の枝豆とは

- ① 小田垣商店にゆかりのある農家が、土づくりからこだわり、丹精込めて育てた選りすぐりの枝豆を、ケンミン食品の冷凍食品工場（丹波篠山市）で丁寧に選別・ボイル・瞬間冷凍して鮮度を保ち旬の味を閉じ込めました。一年中、世界中のどこでも美味しく召し上がることができます。
- ② 丹波地域でしか育成に向かない丹波黒の中でも、日本一の生産量と質を誇る、丹波篠山市でとれた最高級の枝豆です。収穫時期が10月初旬からわずか2週間の希少な枝豆で幻の黒枝豆と言われています。黒豆になる前の黒さを“枝豆”として収穫します。

■ 株式会社小田垣商店 ■

享保19年（1734年）創業。明治元年に種苗事業を開始。丹波黒大豆、丹波大納言小豆などの取扱い最大手企業である。1984年に丹波黒枝豆の販売を始める。本社屋などが国の登録有形文化財に指定されている。



小田垣商店外観

■ 本件に関するお問合せ窓口 ■

ケンミン食品株式会社 広報室 担当：田中（070-2273-8559）山崎（080-6616-7638）南（070-2273-8558）
TEL：078-366-2054 e-mail：kenminpr@kenmin.co.jp 〒650-0024 兵庫県神戸市中央区海岸通 5丁目1番1号



3 製造工程

篠山工場では、小田垣商店より納入された枝豆を、
①茹でる ②選別する ③計量する ④袋に入れる ⑤凍結する工程を経て商品となります。丁寧な作業により、品質の良い冷凍枝豆を毎年お客様にお届けします。



①茹でる



②選別する



③計量する



⑤凍結する

ケンミン食品とは

1950年神戸創業のビーフンメーカー。国内ビーフン市場の約50%のシェアで日本一。創業者高村健民に因み、健康（健）を皆さま（民）に提供するという理念を持つ。看板商品「ケンミン焼ビーフン」は世界初の即席ビーフンとして1960年誕生。“最も長く販売されている即席焼ビーフンブランド”としてギネス世界記録™に認定。ビーフンの他にも、フォー、ライスパスタ、ライスペーパーなど米を原料とした加工食品を製造する専門企業である。近年、欧米ではグルテンフリーがトレンドとなっており、2022年にはお米のめんで作ったグルテンフリーで本格的な中華麺を開発し、グルテンフリーラーメンや焼そばを販売している。2025年大阪・関西万博にGF RAMEN LABを出店中。2018年地域未来牽引企業、2020年ひょうごオンリーワン企業に認定。明治安田J1リーグヴィッセル神戸のオフィシャルパートナー。
<https://www.kenmin.co.jp/>

■ 本件に関するお問合せ窓口 ■

ケンミン食品株式会社 広報室 担当：田中（070-2273-8559）山崎（080-6616-7638）南（070-2273-8558）
TEL：078-366-2054 e-mail：kenminpr@kenmin.co.jp 〒650-0024 兵庫県神戸市中央区海岸通 5 丁目 1 番 1 号

